

三重県の土地改良事業紹介 28

三重県農村災害ボランティア研修会報告



【農村災害ボランティアの概要】

水土里ネットみえと三重県および三重大学は、平成16年度台風21号に起因する多大な被災経験を契機として、平成18年度に、三重県農村災害ボランティア団体を立ち上げました。

大規模な自然災害が発生した場合には、相当数の農地・農業用施設が被災することが想定されます。被災した農地・農業用施設につきましては、災害復旧事業により速やかな復旧を行い、農業生産が滞りなく継続していただけるよう、市町、県は事前準備作業に取り掛かります。しかし被災規模が大きい場合には、箇所数も多く、また、住民の生命や生活に要するライフライン復旧の優先順位が高いため、農地・農業用施設の復旧に多くの行政職員を掛けることは難しくなります。このため、この団体は、そういった大災害発生時に、市町職員と一緒に事前準備をボランティアという形でお手伝いする組織です。ボランティアは、災害復旧事業という特殊性から、三重県職員OB、水土里ネットみえ職員OB、三重大学の学生、三重大学の教官を対象に募集し、現在OB18名、学生14名、教官5名が登録いただいています。

【研修会の実施】

大災害に備え、いざという場合に現場でお役に立てるよう、この度、三重大学生を対象とした研修会を実施いたしました。その模様を報告します。

平成21年2月12日 大学生12名、OB4名、教官4名、事務局5名が参加して実施しました。10:00より三重大学201教室にて、ボランティア活動時の服装紹介、ボランティアの活動内容、三重県での過去6年間の災害復旧事業取組状況、平成16年度の福井豪雨、新潟中越地震の状況を事務局より説明しました。

12:30からは、三重大学マイクロバスで平成20年農地災害現場(津市河芸町・亀山市亀田町)にて、ポール横断、写真の撮り方を実習しました。

OBの方々には、率先して技術者の卵たちに、測量のしかた、野帳の書き方などを積極的に指導していただきました。

【最後に】

大災害は起こらないことにこしたことはございませんが、万が一に備え準備しておりますので、その際にはご活用下さい。

三重県農村災害ボランティア団体事務局

水土里ネットみえ

059-226-4824

三重県農水商工部農業基盤室

059-224-2604